

上新田小「校長室だより」糸半

きずな

平成29年 6月30日

上新田小学校 文責 校長

平成29年6月号 NO3

教育目標「よく学び 心やさしく たくましく すすんで働く 上新田っ子」

子どもたちに語ったことです！ぜひ、家庭でも話題に

6月の全校朝会で、子どもたちに次の二つのことを話しました。

一つ目は、「情けは人の為ならず」ということばです。最近あまり耳にしなくなりましたが、「人に情けをかけるとその人を甘やかしてしまうことになるので、その人のためにならない。」と間違った解釈を聞くこともあるけれど、実際は「人に情けをかけるということは、まわりまわって自分に返ってくる。情けは人の為ではなく自分の為になる。」という意味を子どもたちに伝えました。つまり、人に優しくするとそのことが回ってきて、いつか自分が他の人からたくさん優しくされるから、自分の為にも人に優しくしましょうと声をかけ、それは本校の「心やさしく」につながり、キーワードである「自分も OK 相手も OK」と同じでみんなが幸せな気持ちになる行動であることを話しました。

二つ目は、「本をたくさん読むことは、いつか自分の人生のために何倍にもなって返ってくる。」ということを昨年の九州校長研究大会での熊本県の蒲島知事のエピソードをもとに話しました。(朝会では、時間がなくて詳しく話せなかったエピソードの概要を以下に記します。)
「蒲島氏は小学校から、経済的に苦しく勉強を一度もしたことがなく、高校時代の成績も220人中200番台だったこと、しかし、夢を抱きながら「本は誰よりも読んだと思います。」というぐらい毎日毎日日本を読み、小説家になることや政治家になることなどの夢をもったこと。高校卒業後、自動車会社に就職したが、すぐ退職し、次は農協へ就職、しかし数年後、牧場を開きたいという夢をかなえるために農業研修生としてアメリカに渡り、大学での学科研修の際に勉強のよさ「勉強をするだけでご飯が食べられる等」を感じ、アメリカの大学に英語での受験にチャレンジし、多くの苦労の末に大学に合格、その後大学院に進み、政治学の博士号を取得、帰国し筑波大学に17年間勤めた後、東大法学部の教授になられたこと。そして61歳の時に熊本県知事選挙へのお誘いがあり、現在に至っておられるとのことでした。」
蒲島氏は、「人生の可能性は無限大である。」こと、「夢をもつことの重要性」そして、「夢はどこから来るか」というと大人たちの背中と、自分の経験と、本を読むことだと思っています。」と語られました。子ども達には上記のエピソードを簡単に説明しただけでしたので、夢をもつことと同時にたくさんの本を読むことの大事さについても、子どもさんと話される際に上記の内容も伝えていただくとありがたいです(実際はもっと詳しくエピソードも交えて話されたのですが、紙面の都合上抜粋です。すいません)。

今年も活躍！上新田っ子

今年も上新田の子どもたちは、学校内外で活躍しています。校長室だより「糸半」でもできる限り紹介していきたいと思っております。※ 紙面の都合で全ては紹介できませんが、何か情報がありましたらお願いします。



2年

空手県大会優勝



3年

歯科ポスター 金賞



上新田少剣

団体戦 優勝や入賞 個人戦 優勝や入賞